

HIV/エイズ

PRESENTED BY AMERICA'S BIOPHARMACEUTICAL COMPANIES

製薬企業はHIVおよびHIV関連疾患の治療薬 およびワクチン92種を研究開発中

最も重篤で深刻な健康問題を引き起こす疾患の1つであるHIV/エイズと闘うために、製薬企業はHIV/エイズおよび関連疾患用の治療薬92種を研究開発中で、さらに予防用ワクチン開発の取り組みを強化しています。1983年にエイズウイルスの存在が最初に特定されて以来、2007年に承認された2種を含め、30種のHIV感染治療薬が承認されています。

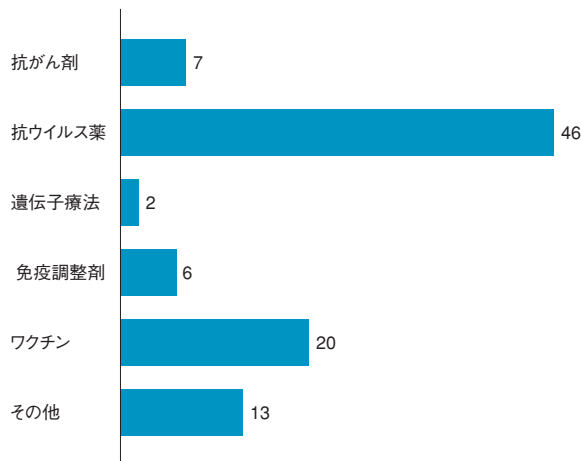
国連エイズ合同計画 (UNAIDS) によると、今年で全世界のHIV感染者は3,320万人と推定されており、新たな感染者は250万人、HIVによる死者は210万人に達すると見られています。米国疾病管理予防センター (CDC) によると、2005年末時点における米国内のHIV感染者は推定でおよそ50万人に上ります。

「世界的にHIVを抑制するうえで、安全で効果的なワクチンは不可欠です」と米国国立アレルギー・感染症研究所 (NIAID) のディレクター、アンソニー・フォッシュ博士が指摘する通り、予防用ワクチン開発は、エイズとの闘いにおいて重要な意味を持ちます。国際エイズワクチン推進構想 (IAVI) では、HIVワクチンをはじめとする予防の取り組みにおいて大きな前進が見られなければ、感染者は2005年の約500万人から2030年には1,000万人に倍増する恐れがある、と示しています。IAVIでは、エイズワクチンの効果は絶大であり、特に発展途上国において顕著となると予測しています。効果的なHIVワクチンにより、今後数十年の間に予想されている新規感染1億5,000万件のうち、約3,000万件を予防することが可能になります。効果の高いワクチンであれば、15年間で7,000万件以上の感染を防ぐことも可能です。現在、20種のワクチンが開発段階にあります。

現在、開発中のワクチン20種のほか、抗ウイルス薬46種、がん治療薬7種、免疫調節薬6種、遺伝子療法2種、その他13種が、臨床試験段階または米食品医薬品局 (FDA) の承認待ち段階にあります。

日和見感染症はHIVウイルス感染患者にとって、特に大きな問題となっています。日和見感染症には、HIV患者に最も多く見られる日和見感染である口腔カンジダ症、エイズ患者の最大50%が感染する細菌感染であるマイコバクテリウム・アビラム・コンプレックス症 (MAC)、米国で最も一般的なエイズ関連感染症であるニューモシスチス・カリニ肺炎 (PCP) などがあります。開発パイプライン上にある

開発中のエイズ治療薬*



*2種類以上の分野に分類されている薬剤もある。

HIV関連の日和見感染症治療薬に関する情報については、別のPhRMA報告書にてご覧いただけます。

開発パイプライン上にあるHIV治療薬およびワクチンの一例:

- ・ヒト細胞の表面にある受容体たんぱく質に結合し、HIVウイルスが細胞に進入することを阻害する薬剤1種。
- ・2つの新技術を用いて、HIVに対する免疫反応を高めるアンチセンス療法1種。
- ・世界中で確認された最も一般的なHIV-1ウイルスを防御するワクチン1種。

HIV/エイズは、今なお世界中の人々を苦しめている深刻な疾病です。米国の研究開発志向型製薬企業は、画期的でより効果の高い治療法やワクチンの開発に注力し、疾病を抑え、患者さんが充実した生活をより長く送ることができるよう引き続き取り組んでいます。

ビリー・トーザン
PhRMA理事長